



福井 節子 議員

コロナ感染拡大の時、市民に安心を与える市の対応を

**問** 市にコロナ専用窓口を設置してはどうか

**答** 相談窓口をわかりやすくお伝えしていきます

年齢施設ではクラスターも発生した。第8波に向けてどう備えるか、共通認識が必要ではないか。

**答** 健康福祉部長

7月19日以降の感染状況、発熱外来の受診状況は把握しています。現在は少し落ち着いてきていると聞いており、そのあたりの認識はしっかりと持っています。

**問** この時期は、抗原検査キットが市内の薬局になかった。保健センターなどで無料配布の検査キットを備蓄してはどうか。

**答** 健康福祉部長

現在も、県が無料化検査事業を継続していますし、検査

**答** 健康福祉部長  
県からは、配置している専用車両で対応できていると聞いています。高島保健所と、今後の対応を相談していきます。

**問** 逼迫時は、保健所もかかりつけ医も救急も、電話はつながらず検査も受けられない状況があった。市民は身近な市を頼りにしている。コロナ相談窓口が必要ではないか。

**答** 健康福祉部長

県の受診・相談センターが、24時間365日対応されていますし、緊急時には、救急病院等をご利用いただけます。こうした情報をわかりやすくお伝えしていきたいと思えます。

その他の質問

●「公営住宅は保証人なくとも入居できる」の国通達を守って

●暮らしのセーフティネット生活保護は生活の保障

**問** 医療逼迫の非常事態をつかんでいるか。

**答** 健康福祉部長

8月23日には1333人と、最多の感染者数が確認されました。ピーク時には一時的に発熱外来受診が増え、長時間お待ちいただいたり、検査に時間を要したことは承知しています。

**問** 7月20日から9月9日まで

に3614人罹患され、10人以上以上が感染。学校や保育園の子ども達が多く感染し、家族感染も広がった。高